

## 本書のご利用に当たって

### 1. 目的及び注意事項

米国の輸出・再輸出を理解するには、まず、商務省産業安全保障局(BIS)が管掌する輸出管理規則(EAR)から取りかかることになると思います。この規則は、読めば理解できるように書いてあるとのことですが、英文である上、分量が多く、改定も度々あり、しかも技術的な商品知識や貿易実務も関係しているところから、一通り読むだけで理解するのは並大抵のことではありません。

そこで CISTEC では、EAR に関する Q&A/ケーススタディをまとめた第一版として、「米国の輸出・再輸出規制—Q&A/ケーススタディ」を 2002 年 10 月に出版いたしました。出版から約 10 年という月日が経ち、規則の内容や運用も少しずつ変わってきています。第一版は、CISTEC 総合部会国際関係専門委員会海外法制度分科会米国輸出管理法制度調査グループが主体となり、米国法に関するいろいろな疑問や事例を想定して、作成したものでした。

今般、リニューアルするにあたって、各項目の Q&A 部分については、**基本から応用までをカバーできるようにオリジナルの Q&A**を作成し、ケーススタディ部分については、主に CISTEC 安全保障貿易管理研修会<海外法制度シリーズ>の「米国再輸出規制」における Q&A コーナーで頂いたご質問を精査し、最新の EAR に基づいて編集しています。また、第一版の内容も一部、盛り込んでいます。

#### 【注意事項】

- ①本 Q&A/ケーススタディは、EAR あるいはその他の米国輸出管理関連法規に新たな解釈を付け加えたり、それを試みようとするものではありません。個々の疑問や事例の最終判断については、必要に応じて米国政府の担当窓口にご相談ください。
- ②法律を一般的に参考として示したものであって、これら法律が特定の事実又は事案に適用される場合に基いて作成されたものではありません。
- ③実際の輸出管理業務についての手続きや判断及び解釈に関しては、最新の EAR、又はその他の輸出管理関連法規の原文に拠る、米国関係省庁の見解を確認する、米国弁護士への相談を行う等、輸出者・再輸出者の各位の責任で行っていただきますようお願い申し上げます。
- ④本 Q&A/ケーススタディは 2011 年 12 月末時点の EAR に基いております。

### 2. 本書の構成

第 1 章の「Q&A/ケーススタディ」では、11 項目に大別し、それぞれに Q&A とケーススタディを盛り込んでいます(一部、ケーススタディが無いものもあります)。「Q&A」では規制内容に関しての**基本的理解、法令のポイント**となる**ところや間違いやすい箇所**などを中心に Q&A 化いたしました。必要があれば根拠規則や用語解説を参照できる

ように工夫しています。「ケーススタディ」では、具体的な製品やよく行われる取引事例を挙げて解説しています。

第2章の「関連 FAQ」では、BIS がウェブサイト上で公表している FAQ の中から、比較的再輸出者に参考になるものを9件選び邦訳したものと、それ以外の FAQ の情報源を盛り込んでいます。

第3章の「略語・用語集」では本書で使用した略語・用語の英文表現や概意を、第4章の「Table Of Contents (EAR)」では EAR 原文の全体構成を、さらに第5章の「参考になるウェブサイト／書籍」では、第1章の本文中に出てきたウェブサイトをまとめて記しています。BIS だけでなく、他省庁の情報源もカバーしています。

本書の作成に際して、各 Q&A の説明内容が重複していたり、ケーススタディが類似していたりしていますが、そのままにさせていただきました。繰り返し説明させていただき、また、類似したケースであっても違う角度からひも解くことで、皆さまのさらなる理解への一助になれば幸いです。

執筆・取り纏め:

一般財団法人 安全保障貿易情報センター  
研究員 山根 佳子